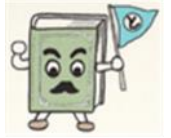


としょえもん

2016年度(平成28年度)
第3号



編集・発行：八王子市教育委員会



陶鎔小学校 図書の間

「調べる学習コンクール」を開催

八王子市は今年市制100周年を迎えました。そこで、身近な疑問や不思議など、調べたことを発表し未来へ向けて発信する場として「第一回調べる学習コンクール」を9月に開催します。対象は、市内在住・在学の小・中学生です。この100年の先人の知恵と工夫による本市の移りかわりや、自然、文化、産業など本市ならではの魅力を、学校や地域の図書館で調べてみませんか。



さらなる学校図書館の活用へ向けて

平成29年2月14日に文部科学省が、次期学習指導要領改訂案を発表しました。学習指導要領は、時代の変化や子どもたちの状況、社会の要請等を踏まえ、ほぼ10年ごとに改訂されています。小学校は32年度から、中学校は33年度から全面实施となります。

今回の改訂では、これまでの「どれだけ覚えたか」から、将来のために「何を学ぶのか」「どのように学ぶか」など、枠組みが見直されました。「子どもたちが、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるよう、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善を打ち出しています。

小学校3年生から英語活動として、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り)」「発表すること」「書くこと」が行われます。また、道徳も教科書が使われるようになり、自分で「考え、議論する」授業に変わっていきます。

本市ではこのような学習を通して学びの質を高めるために、学校図書館の充実、活用を図る取り組みを推進しています。

平成 28 年度全国学力・学習状況調査から

～八王子の子どもたちはどのくらい読書をしているか～

質問事項： 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)

選択肢： 1=2時間以上 2=1時間以上、2時間より少ない 3=30分以上、1時間より少ない
4=10分以上、30分より少ない 5=10分より少ない 6=全くしない

中学校	選択肢	1	2	3	4	5	6	その他	無回答
	八王子市(公立)	6.2	8.1	13.9	25.1	13.8	32.8	0.0	0.1
	東京都(公立)	5.8	8.1	14.9	21.9	13.5	35.6	0.0	0.1
	全国(公立)	5.5	8.1	14.6	21.5	13.1	37.2	0.0	0.1

小学校	選択肢	1	2	3	4	5	6	その他	無回答
	八王子市(公立)	8.1	10.6	20.9	25.4	15.4	19.5	0.0	0.0
	東京都(公立)	8.2	11.7	21.9	25.5	13.9	18.8	0.0	0.0
	全国(公立)	6.8	9.9	19.8	27.0	15.9	20.6	0.1	0.0

平成 28 年 4 月 19 日に実施した「平成 28 年度全国学力・学習状況調査」において、「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌を除く)」の質問に対する回答は、八王子の児童(小学生)は、2時間以上読む割合が 8.1%で、全国平均を 1.3 ポイント、30分以上1時間以内では、20.9%で、これも全国平均を 1.1 ポイント上回っていました。さらに、全く読まないは、本市平均は 19.5%で、全国平均 20.6%より 1.1 ポイント下回る結果となりました。

生徒(中学生)においては、2時間以上読む割合は 6.2%で全国平均を 0.7 ポイント高く、10分以上30分以内では、25.1%で全国平均を 3.6 ポイント上回っていました。また、全く読まないは 32.8%で全国平均を 4.4 ポイント下回っていました。

このことから、八王子の小・中学生は全国平均に比べて本を読んでいることが分かります。授業以外の時間や朝の読み聞かせ、朝読書の取り組みが子どもたちの「読書」の動機づけになっていると考えられます。今後も読書活動の充実を推進していきます。



学校司書がすすめる「今日の一冊」～お昼の放送で司書トーク

「皆さんこんにちは。今日は木曜日、学校司書が来ています。今日も学校図書館からお知らせします。最初は到着したばかりの新しい本の紹介から」

七国中学校では、お昼の放送で学校司書が話をしています。回を重ねてもうすぐ 20 回、これまでいろいろな本を取り上げることができました。

放送のよいところは、何ととってもタイムリーな話題を提供できることです。アメリカ大統領選挙、ノーベル文学賞発表、映画封切、三年生が修学旅行に出かける日など、社会の出来事や学校行事に合わせて様々な本を紹介しています。先生からリクエストがあった本や、図書委員が作ったポップ(紹介カード)を読み上げる日もあります。「今日の昼休みから新しい本を貸出します！」とアナウンスすれば大勢の生徒がどっと押し寄せ、想像以上に大きな放送の効果を感じました。中学校では、図書館に来る授業は多くありません。

本校でも、図書委員が頑張つて毎日開館していますが、部活や宿題に忙しい中学生たちにも、本には触れてほしいから、これからも「お昼の司書トーク」を続けていこうと思っています。

一人読めで読書を楽しむ

4年生

檜原小学校4年生の図書時間。始めはとても賑やかですが、授業の後半になると、ページをめくる音しか聞えませんが全員が本に集中しています。この学年、初めから「本が好き！」という児童ばかりではありませんでした。「図書時間なのだから読書をさせたい」と思案していました。

まずは、本が探せない子どもたちに本を薦めることから始めました。子どもたちと一緒に書棚を見てあるきながら、友だち同士の話やインタビューから好きな本を推測して薦めます。「読みたくない」と言っても本を持たせ席に着いてもらい、授業中盤には「10時からひとり読みだよ」と講師の先生と繰り返し呼びかけます。「すごい本が読めるようになったねえ」「ひとり読みがすごく上手！」など、目についた良いところを大きな声で伝えます。

時間は掛かりましたが、今ではひとり読みがしっかりと定着しています。子どもは本が大好きで、きっかけさえつかめば、心から読書を楽しめることを実感

しました。見守り、褒めて、おもしろい本を揃えようと思います。



おすすめの本も子どもたちが選んで展示しています。(檜原小学校)

学校図書館 特色のある取り組み ～現場からのレポート～

ポランティアによる

「おはなし会」

～開催の工夫と学校との連携～

第十小学校では、春と秋の読書週間に各2回、昼休みの学校図書館を会場におはなし会を行っています。読み聞かせ、紙芝居、ペープサート、ブックトークなど、内容は多彩です。怖い話の回では暗幕で室内を薄暗くしたり、ハロウィーンにはかぼちゃや魔女の帽子を用意したり、雰囲気づくりも抜群。毎回200人近い子どもたちが聴きにきます。

ポランティアのみなさんは様々な工夫をしています。例えば、有名な歌の替え歌で「はじまりの歌」「おわりの歌」を作り、子どもたちが聴く態勢に切り替えられるようになりました。暗幕で書架を隠すことで、お話への集中度が増しました。しおりなど手作りの記念品を配付し、余りの数から参加人数を把握しています。

開催にあたっては、学校との連携を大切にしています。開催日は、昼休みに予定のない日を学校から提示してもらい、その中から決めます。当日は、先生に放送で宣伝してもらいます。今年度は、スペシャルゲストとして先生にお話して

いただけました。怖い話がお上手で評判のK先生の出演に、子どもたちは驚きながらも真剣に聴き入っていました。

おはなし会も3年目、子どもたちは、詰めて座って待つようになるなど、楽しみ方が身についているようです。学校司書から見ても、ワクワクする魅力的な催しです。



みんなが楽しみにしているおはなし会、何が始まるかな？

(第十小学校)



学校図書館の窓から〜学校司書のおすすめ本

『もしもぼこ』

武田美穂／あすなろ書房



けんたがおじいちゃんの家に向かっていると、お茶わんとおはしを持った二人の女の子に出会いました。姿を消してはまた現れるふしぎな女の子たち。村ではざしきぼっこに親切にすると暮らしがよくなると言われていますが…。

こわいおともだちシリーズの『かっぱぬま』と合わせてぜひ読んでください。(低学年)

『ぼくたちのリアル』

講談社

戸森しるこ作／佐藤真紀子絵



5年のクラスがえで、幼なじみの璃リアルと同じクラスになった。リアルはスポーツも勉強も何でもできて、性格もいい学校中の人気者。そんなスーパーリアルも彼なりの問題を抱えていて…。人はお互いに支えあって生きていることが実感できる話です。登場人物の相手を思いやる気持ちにグッときます。(高学年)

『ねじの風つくり工場 工場見学のお客さま』

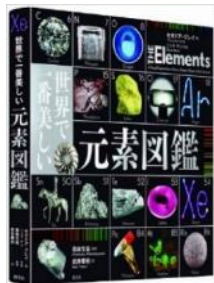
みずのよしえ文／いのかいじ絵／偕成社



町にくらすねこたちは、散歩に出かけるとみせかけて風つくり工場に出勤しています。いい風をつくるために、研究熱心なねこたち。機械が故障することもあれば、スパイが来ることも！自分のすべき事を考え、みんなが日々を楽しく過ごします。ほっとできる3つの話が入っています。(中学年)

『世界で一番美しい元素図鑑』

セオドア・グレイ著／ニック・マン写真／創元社



地球上のあらゆるものはすべて「元素」でできています。教科書でも学ぶ「元素」の、純粋な形でいるときの写真と、化合物や製品として応用されているときの写真が載っています。

その美しさに、化学が苦手・興味がないという人も「見て」たのめる1冊です。(中学生〜一般)

学校図書館ボランティア

八王子市では、多くの学校で学校図書館ボランティアの方が活動をしています。読み聞かせや図書の修理、装飾など、様々なご支援を頂いているところです。

学校図書館サポートセンターでは学校図書館ボランティア研修会を開催しています。八王子市ホームページや「としよえもん」でお知らせするほか、活動中の学校からもご案内を配布しています。ご参加をお待ちしています。

来年度も引き続きご支援をお願いいたします。

平成28年度学校図書館ボランティア研修会の記録

実施日	内容	参加人数
6月1日(水)	読み聞かせ・紙芝居	190名
11月25日(金)	修理・整備・装飾	138名
1月18日(水)	ボランティア交流	34名

平成29年度研修会予告

開催予定日	内容
5月24日(水)	読み聞かせ
11月15日(水)	未定



百年の彩りを
次の100年の輝きへ

発行日：2017(平成29)年3月20日

問い合わせ先：八王子市学校図書館サポートセンター

八王子市教育センター(八王子市散田町2-37-1)内

電話 042-664-1135 / ファックス 042-662-2988